

🌸2010年度のろうきんNPO寄付システムの状況について

第5回目の配分となる本年度（2010年度）は、みなさまのお陰で総計390,486円の寄付をお預かりすることができました。（その内訳につきましては、「収支表」をご確認ください。）

本当にありがとうございました。

2010年度はそのお預かりした寄付金を、NPO法に基づく17の活動分野の中から、次の分野で活動する団体を公募し、配分をいたしました。本年度は配分先団体にさらなる情報の開示を求め、日本財団が運営する公益ポータルサイトCANPANの団体情報フォーマットに準じた内容による団体情報の提出をお願いいたしました。この団体情報フォーマットは全国の助成財団などが求めている助成金申請書の項目を調査した結果を反映して作成されており、これにより多くの場面で求められている団体の情報を開示いただき、寄付者の皆様にもそれを確認いただける状況をつくることができました。

なお、配分先の選考についても、提出された書類を基に審査委員会によって、主に団体の活動の社会的共感性、情報公開度、継続性、社会性、(分野への)適合性、過去の実績などの点に着目して厳正に実施しました。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動 1 団体
- (2) 環境の保全を図る活動 2 団体
- (3) 災害救援活動 2 団体
- (4) 子どもの健全育成を図る活動 1 団体
- (5) 職業訓練・雇用 1 団体

審査の結果、応募のなかった分野や応募団体が審査基準に達しなかった分野を除き、下記のとおり、4分野4団体が選ばれました。なお、配分団体の団体情報につきましては、「岡山の公益ポータルサイト NPOkayama」にて公開しております。

岡山の公益ポータルサイト NPOkayama  <http://npokayama.canpan.info/>

[2010年度配分団体]

分野	団体名	主な事業内容
保健・医療・福祉	さんかくナビ	男女共同参画推進事業：女性への性暴力被害者支援の研修、他団体とのネットワーク作り、DV被害者支援事業：民間シェルターの運営 4 部屋、DV被害者支援者の養成とコーディネート、DV被害者自立支援事業（自助グループ）、相談（電話・面談）、子育て支援事業：学童保育の支援、長期の預かり保育、訪問介護事業
災害救援	AMDA	緊急救援活動、地域開発・地域医療活動、復興支援事業、インドでのピースクリニック設立運営、バングラデシュでの総合保健事業、ネパールでのブータン難民医療支援活動
子どもの健全育成	子ども劇場 岡山県センター	子どもの諸活動に関する支援、子どもと文化に関する活動の交流・サポート及び人材養成、子どもと文化に関する活動の連絡・調整、文化事業の企画および協力・提携、情報誌の発行および広報・調査、各分野NPOなどとの連携・ネットワークづくり、その他目的達成に必要な事業
職業訓練 雇用	ふりこの会	共同作業所の運営事業、地域交流事業、精神保健福祉に関する研修事業

★中国ろうきんNPO寄付システム収支表

区分	前年度 繰越額	2010年度 金額	配分 件数	配分 金額	おまかせ 充当額	岡山NPOセンタ ーへの寄付※	繰越額
保健・医療・福祉	0	48,493	1	38,794	11,206	9,699	0
社会教育	4,803	1	0	0	0	0	4,804
まちづくり	12,652	9,104	0	0	0	1,821	19,935
文化・スポーツ	13,939	6,904	0	0	0	1,381	19,462
環境保全	58,008	32,719	0	0	0	6,544	84,183
災害救援	158,641	43,847	1	50,000	0	8,769	143,719
地域安全	0	0	0	0	0	0	0
人権・平和	0	16,903	0	0	0	3,381	13,522
国際協力	0	14,905	0	0	0	2,981	11,924
男女共同参画	0	0	0	0	0	0	0
子どもの健全育成	0	51,711	1	41,369	8,631	10,342	0
情報化社会	0	0	0	0	0	0	0
科学技術	0	0	0	0	0	0	0
経済活動	0	0	0	0	0	0	0
職業訓練・雇用	8,012	2,402	1	9,934	40,066	480	0
消費者保護	3,716	1,200	0	0	0	240	4,676
NPO支援	18,424	8,005	0	0	0	1,601	24,828
おまかせコース	531,816	154,292	0	59,903	0	30,858	595,347
合計	810,011	390,486	4	200,000	59,903	78,097	922,400

■表をご覧いただくにあたって

① 寄付金額は利息も含めて表示しています。②繰越額には2011年1月～3月の寄付金額を除いています。

③「おまかせコース」口座からは、配分金額に満たない分野への充当をしています。

※寄付金の管理・運営は各県の「NPO中間支援団体」が行います。その運営実費補填も含めて寄付金の一部(最高20%)を「NPO中間支援団体」へ寄付配分することで、県内のNPOを応援する中間支援団体の支援も行います。(ろうきんNPO寄付システムパンフレットより)

◎ 特定非営利活動法人 岡山NPOセンターより。

岡山NPOセンターは「豊かな市民社会の実現」を目指し、NPOや社会事業に取り組む方々の経営支援や資源提供、人材養成、行政との協働推進、企業のCSR支援などに取り組んでいます。

昨年度に正式開設をした、岡山の公益ポータルサイト「NPOkayama」では、情報開示をおこなう確かなNPO法人への認証を続け、その数を年々、増やしております。地域の状況が刻々と変化していく中で、その変化に対応し、課題の解決に取り組むNPOに対して信用を付加することで、その活動発展や支援者との結びつきを深めていく取り組みを展開しています。その他にも、年間に17の自主事業、5つの協働事業を展開し、様々な手法で地域を変える、地域を支えるNPOの育成と発展をすすめていきます。

今年度も多くの方のご支援をいただき、本当にありがとうございました。

連絡先	①代表者氏名 米良 重徳	②代表者役職名 代表理事
	③住所 〒700-0822 岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル4階	
	④電話番号 086-224-0995	⑤FAX番号 086-233-1732
	⑥E-mail npokayama@gmail.com	⑦URL http://www.npokayama.org/

特定非営利活動法人 **さんかくナビ**

●団体の目指す社会像と、それを実現するための具体的な取り組み(事業)について

性別に関わらず、それぞれの個性を生かして暮らせる男女平等な社会を目指しています。男女平等な社会の実現を大きく阻むものとして、DV(配偶者等からの暴力)があげられます。DV環境から被害者を救い、生活再建へ向けての様々な支援を行い、DV防止の活動を行おうと2004年に団体設立、2005年1月からDV被害者のための民間シェルターの運営(4~5部屋)を始め、民間ならではの柔軟な支援を行っています。アドボケイト活動、自助グループの運営、DV休日電話相談、支援グループの立ち上げ支援、全国大会の開催、デートDV相談掲示板の運営担当等、行政機関、他団体、弁護士や医師、相談員などの専門家、市民などの協力を得ながら、活動を展開しています。同時に、NPOとしての財政基盤の確立＝有給職員の確保を目指し、訪問介護事業所を併設して、「女性の就業」「高齢者」「介護従事者」等の多様な角度から「男女共同参画社会の推進」にアプローチしています。



●寄付者へのお礼のメッセージ

事業を展開するために様々な補助金や助成金を探し、応募しながら活動しています。多くの助成金が「管理費」にあてることができず、いつも残念に思っていました。NPOの活動では、団体を維持するための財源の確保が非常に大きな課題だと痛感しています。今回の「ろうきん」の寄付助成は、職員やボランティアのスキルアップの研修費用や、リユースパソコンを寄贈いただいた際の自己負担の事務費などに当てさせていただきました。どうもありがとうございました。

連絡先

- ①代表者氏名 貝原 己代子 (②代表者役職名: 理事長)
- ③住所 〒 700-0867 岡山県岡山市北区岡町14-9 岡町ビル202
- ④電話番号 086-801-5073 ⑤FAX番号 086-801-5072
- ⑥E-mail sankaku-navi@mx32.tiki.ne.jp
- ⑦URL
- ⑧開示情報URL

特定非営利活動法人 AMDA(アムダ)

●団体の目指す社会像と、それを実現するための具体的な取り組み(事業)について

1984年の設立以来、「困った時はお互い様」という相互扶助精神のもと、「救える命があれば、どこへでも」をモットーに、平和を妨げる要因である紛争・災害・貧困に苦しむ人々への保健医療支援を柱とする国際人道支援活動をアジア・アフリカ・東欧・中南米51カ国で実施してきました。実施した緊急救援は123件になります。2006年には、国連経済社会理事会から世界で137番目、日本のNPO法人として最初の「総合協議資格」の認証を受けました。

AMDAの活動は「多様性の共存」をめざし、常に支援を必要としている現地の人たちのニーズを優先し、ローカルイニシアチブによる保健医療支援活動を実施しています。

具体的には、難民や災害被災者への短期的な緊急救援活動や中期的な復興支援活動です。特に緊急救援活動の際には、AMDA海外支部(30カ国)間で「AMDA多国籍医師団」を編成し、医療救援活動にあたっています。



●寄付者へのお礼のメッセージ

この度は「ろうきんNPO寄付システム」様を通じて、私たち特定非営利活動法人AMDAの活動をご支援いただきありがとうございました。AMDAは2010年度に「チリ地震」「ニュージーランド地震」そして「東日本大震災」など11件の緊急医療支援活動を行いました。また災害後の復興支援や長期支援事業も展開しています。

特に3/11に発生した東日本大震災では、翌日、3/12より被災地で活動を開始し、宮城県仙台市、宮城県南三陸町、岩手県釜石市、岩手県大槌町の4市町を拠点とし、避難所での診療、および巡回診療を中心に4月末まで活動を行いました。ろうきんNPO寄付システム様から頂いた50,000円は東日本緊急医療支援活動に使わせていただきました。

連絡先

- ①代表者氏名 菅波 茂 (②代表者役職名： 理事長)
- ③住所 〒 700-0013 岡山県岡山市北区伊福町3-31-1
- ④電話番号 086-252-7700 ⑤FAX番号 086-252-7717
- ⑥E-mail member@amda.or.jp
- ⑦URL <http://www.kirameki-plz.com/~asj-okayama>
- ⑧開示情報URL http://canpan.info/open/dantai/00012770/dantai_detail.html

特定非営利活動法人

子ども劇場岡山県センター

●団体の目指す社会像と、それを実現するための具体的な取り組み(事業)について

本会は1999年9月9日に岡山県で10番目に認証を受けた、特定非営利活動法人です。子どもが豊かに育っていく社会環境を整えるため、早くからNPOの活動支援を行ってきました。現在は、子どもの居場所作りに力を入れ、「チャイルドラインおかやま」の運営のほか、地域での子どもの居場所作りのサポートを行っています。また、子どもの舞台鑑賞作品の企画と実施には長い経験と実績を持ち、その普及にも努めています。そして近年は、子ども関係団体等のネットワークづくりやアートスタート事業を行ない、すべての子どもの豊かな成長をめざします。

18歳までの子どもの声に耳を澄ます電話、チャイルドラインおかやまを2001年に開設して10年になります。毎週月曜日と土曜日の午後4時～9時までの5時間(2007年までは午後3時～午後9時の6時間)の開設ですが、10年間で受けた電話は31,873件になりました。

救われた、と思うとき、
人は誰かと話している。



つらい状況のなかで、話を聞いてくれる誰かがいる。ただそれだけで、胸を打つ感動が襲ってきます。涙を流した子どもたちも、もちろん、そうした自分を誇っているはず。チャイルドラインは、子どもたちの声に大人が耳を傾ける。無料相談サービス。毎月100件、年間1万5千以上の電話が寄せられるNPO法人です。受付け止め、一瞬に考えろこと。子どもたちの顔が思いやりの心で輝いています。

子どもの声に、
耳を澄ます電話
チャイルドライン

☎0120-99-7777 (月～土 18:00～21:00)
<http://www.childline.or.jp>

チャイルドラインは岡山県から支援しているNPO法人のネットワークを構築しています。公益財団法人岡山県NPOセンター 認定特定非営利活動法人チャイルドラインセンター

●寄付者へのお礼のメッセージ

チャイルドラインおかやまでは、フリーダイヤルで18歳以下を対象に傾聴活動を行っています。昨年も5,000件以上の電話を受けました。一期一会を大切に電話を通じての会話ですが、かけてきた子どもと受け手とが互いに影響しあい自己肯定を高め、人への信頼感を厚くし、成長し合っているのを感じています。単なる参加者数だけでなく、質の面でも高いものがあると自負しています。

子どもたちが人として豊に育つ社会は、「人を大事にする」社会です。私たちは多くの賛同者や参画者の輪を広げながら、そういった社会を作っていきたいと考えています。いただいた寄付は、多くのボランティアがかかわる私たちの事業に、大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

連絡先

- ①代表者氏名 宇野均恵・徳持昌代 (②代表者役職名: 代表理事)
- ③住所 〒 700-0822 岡山県岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル4F
- ④電話番号 086-233-1731 ⑤FAX番号 086-233-1732
- ⑥E-mail k-g-okayama@mx3.tiki.ne.jp
- ⑦URL <http://ww3.tiki.ne.jp/~k-g-okayama/>
- ⑧開示情報URL https://canpan.info/open/dantai/00003344/dantai_detail.html

特定非営利活動法人

ふりこの会

●団体の目指す社会像と、それを実現するための具体的な取り組み(事業)について

私達、「ふりこの会」は障害を持つ者も、持たない者も、お互いに助け合って幸せに生きる事のできる、ノーマライゼーションの世界を理想とし、今日まで歩んできました。とりわけ、精神障害に対する、根拠なき差別、誤解は根深いものがありました。「ふりこの会共同作業所」ができて、今年30年、清輝橋に移転して10年以上過ぎました。

常日頃より、御近所さんとあいさつをかわすところから始まり、月2回の枝川公園の清掃活動、年1回の地域交流会、年2回の茶話会等を開催し、障害者福祉の普及啓発と理解の促進に寄与してきました。

お陰様で地域の中から、3名の理事と多くの方に正会員、賛助会員になっていただき、「ふりこ」を支えてもらっています。

今年は、近くの岡輝公民館の運営委員に任命していただき、ますます地域に貢献し、地域に愛される作業所となる様、頑張りたいと思っています。



●寄付者へのお礼のメッセージ

私達が現在使用している建物は借家です。大家さんが取り壊し駐車場にしようとしているところを、場所がとってもいいので、無理を言って借りる事にしました。補修工事は全て、こちらですするという条件で契約しました。

近年、通所者が増え、休憩時間にはトイレの前に長い行列ができていました。何とかして欲しいとのメンバーの要求があり、昨年、経済的には非常に厳しかったのですが、トイレの改築をしました。そのリフォーム代に、頂いた大切なお金を使わせていただきました。

お陰様で、トイレの長い行列もなくなり、快適に過ごすことができる様になりました。ほんとうにありがとうございました。

連絡先

①代表者氏名 雨宮悦恵 (②代表者役職名: 職員)

③住所 〒 700-0861 岡山市北区清輝橋1-6-12

④電話番号 086-225-1891 ⑤FAX番号 086-225-1891

⑥E-mail

⑦URL

⑧開示情報URL